

事業内容 編集制作・デザイン・翻訳

弥生会計が存在していたことが 「起業しても大丈夫」という 後ろ盾にもなりました

事業所名：株式会社Lenon / 事業形態：株式会社
設立：2016年 / 所在地：東京都江戸川区



株式会社Lenon代表取締役・杉田寿子さんは、2016年9月に会報誌・イベントパンフレットなどの編集プロダクションとして同社を立ち上げた。杉田さんは、以前勤めていた会社で、日本観光振興協会が発行する「訪日外国人おもてなしガイドブック」を制作。インバウンドに大きな関心を持ち、企画・編集・デザインの他、英語・中国語・韓国語・タイ語などの翻訳機能を備えている同社を起業した。現在も訪日外国人向けの刊行物の他、杉田さん自身が公益社団法人日本カメラ連盟の広報委員に参画する関係から競技カメラの啓発を目的とした機関誌などを制作している。

弥生会計なら「自分でもできる」という 安心感があった

東京都江戸川区のマンションの一室に事務所がある株式会社Lenon。メンバーは代表・杉田寿子さんとアルバイトスタッフの他、フリーランスのメンバーが案件ごとに参画している。

顧問税理士と契約しているものの経理専任者はいない。そのため会計業務は「[弥生会計 オンライン](#)」ですべて杉田さんが行っている。



「起業後すぐに『[弥生会計 オンライン](#)』を導入しました。日頃の業務に使っているMac OSに対応していることも大きかったです。前に勤めた会社も小規模のプロダクションだったため私が経理業務のお手伝いをしていたのですが、その会社で使っていたのがデスクトップアプリの『弥生会計』でした。弥生とは別の会計ソフトも一時は検討しましたが、やはりインターフェースは弥生のほ

うが使い勝手がよく何よりなじみがあり、再び戻ってきたという感じ。弥生には『自分でもできそう』という安心感を感じました。弥生会計が存在することが『起業しても大丈夫』という後ろ盾にもなったと思います」

導入初年度は起業家応援キャンペーンを利用した。2016年1月以降に法人登記した企業ならば利用料が1年間無償になるキャンペーン[※]で「開業初年度に利用料がかからないのは経営者としてとても助かった」と杉田さんは話す。

※終了いたしました。現在は初年度無償キャンペーンを実施中です。

「経理業務の大きな部分は顧問税理士に依頼していますが、日々の経費入力などはすべて自分でやっています。日中はほとんど原稿執筆・編集・デザインに充てなければならないので、経理業務を行うのは週末や平日夜になってから。“主婦が寝る前に家計簿をつけるような感覚”で、弥生会計を使っています」

年間で最も経理業務が多忙になるのは「決算時期」だが、弥生IDによる顧問税理士との連携がうまく作用している。

「一通り自分が担当している部分の入力を済ませておけば、あとは半年に1回のペースで顧問税理士にお任せするだけ。データ連携しているため、打ち合わせもほとんどがリモートです。大き

な負担を強いられることもありません」

経理自動化が リモート化・ペーパーレス化を後押し

日々の経営状況を確認するレポート機能も経営戦略の検討に用いているが、なかでも杉田さんにとってお気に入りの機能は「スマート取引取込」だという。

登録した金融機関の銀行口座のデータや、スマホで撮影したレシート・領収書の画像データを、自動取込・自動仕訳する機能を活用し、積極的に“経理自動化”を推進した。



「会計業務に限らず、アルバイトスタッフの勤怠管理などにも、クラウドアプリを導入しています。おのずとリモート化・ペーパーレス化が進み、校正刷など本業に必要な印刷を別にすれば、プリンター印刷やファイリング書類が格段に少なくなりました」

請求書作成サービス「Misoca」も利用し「すごく気に入っている」と杉田さん。見積書・請求書・領収書作成に活用し、多くはPDFでやりとりする。しかも「Misoca」で入力したデータはボタン1つで弥生会計との連携が可能。売掛金として弥生会計に仕訳連携され、入力の手間がさらに削減された。連携後には「Misoca」上で直感的に経営状況を把握できる売上レポート機能もあり「そうした売上グラフの確認が、仕事の励みになっている」という。図1

未確定の取引

すべて 弥生銀行(サンプル)普通****130 口座連携 CSVファイル Misoca 重複可能性がある取引

全選択 選択された取引の操作を行う

アイコン	日付	取引手帳		摘要
		勘定科目	補助科目	
<input type="checkbox"/>	23/03/30	売掛金		やよいソフト 20230330-002 グラス
<input type="checkbox"/>	23/03/30	売掛金		やよいソフト 20230330-003 グラス

図1 「弥生会計 オンライン」と「Misoca」の連携も容易 ※画像はイメージです。

「『Misoca』を私の周りの方にもおすすめしていますし、すでに使っているフリーランサーも結構いますよ。前の会社では特定の端末からでしか請求書を作成できなかったのですが、特にコロナ禍だったときは『どこでも請求書を作成できる』というリモート化への対応は必須だと思いました。完全ペーパーレスが実現すれば、場所にとらわれた働き方からも開放されるかもしれません」

Afterコロナ時代の インバウンド回復のために

2016年の起業時から、弥生会計は杉田さんの経営を献身的にサポートしてきたようだ。「起業時点から弥生会計があって、本当によかった。今では弥生がないと困る」と杉田さんは振り返る。

「本業の部分がしっかりしていないと、次の仕事を獲得できず経営が成り立ちません。私の場合、まずはデザイン・編集をおろそかにしないことが第一であり、経理・会計業務はあくまでそこに付帯するものだと思っています。理想はその付帯部分に専任者を置いたり外注したりすることですが、当社のような規模だと現実的ではありません。そうした意味で、**経理・会計業務が本業の負担にならないようにしてくれる弥生会計は頼もしいパートナーです**」

コロナ禍で2020年東京五輪は延期を余儀なくされ、インバウンド消費も落ち込んだ。しかし、最近は復活しつつある。

「また訪日外国人の方が戻って来られるように、これからもインバウンド回復のお手伝いをしていきたい。そのためにも今のうちから事業の足場を固め、次世代の育成にも注力していきたいです」



製品紹介

弥生会計オンライン

日々の帳簿付けから決算まですべての機能が1年間無料!

- ▶ 製品ページへ
- ▶ 今すぐ試してみる

MISOCA

テンプレートで各種帳票作成もラク! すべての機能が無料から!

- ▶ 製品ページへ
- ▶ 申し込む(料金プランへ)

※本記事の内容は、取材当時のものです。